

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁berry		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2025年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		～ 2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	*活動室のスペース・職員の配置が良いとされている *活動室の環境は清掃が出来ている (消毒含む)	*心地よく過ごして頂くためにご利用者様の人数に合わせてグループで分けたりしています *毎日翌日に気持ちよく活動が出来るように清掃・消毒・整理整頓をしています。	*職員の配置などには適宜現場で配慮を続けます。
2	*支援内容がマンネリ化ではない *遠い場所にも経験として出掛けることをしている	*職員個々に順番で活動内容を考えているので固定化は無くマンネリしないような取り組みが出来ています。 *外出にも積極的に行けています。(工場見学など)	*活動の内容について振り返りを行いさらに良い支援が出来るように職員の意見交換を充実に行います。
3	*保護者会や個人面談の開催が出来ている	*保護者様との共有を積極的に取り組んでいます。	*個人面談の際にお子さまの活動の様子を見て頂いたりしたいです。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	*活動室のバリアフリーが出来ていない箇所がある	*建物の構造的に部屋と部屋との段差があります。	*リフォームも思案に入れて検討していきます。
2	*地域の交流が中々出来ていない	*情報の収集が足りていないです。	*自立支援協議会・連絡会には参加は出来ているのでその場での情報の収集をしていきたいです。 *地域の行事に積極的に出掛けて行きたいです。
3	*安全対策の共有が保護者様と出来ていない	*安全対策の考え方を難しく考えていると感じています。	*保護者会などで共有をして訓練出来る時間を確保したいです。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	事業所名を入力してください		公表日		2026/2/27	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	・活動の内容によって部屋を分けたりしている	・人数を把握する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	・お休みがあったときに連絡をして時間をずらして頂いたりしている。 ・段取りをつける習慣をつけるようにしている。	・お休みが出たりすると人欠になってしまう事が多い
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	・車いすでの入室が出来るようにスロープを用意している。 ・机の角などにクッションを付けている	・おトイレが狭く支えることが困難なのでカーテンをつけたりプライバシー保護を
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	3	・活動終了後は毎日必ず掃除・消毒をしている。 ・毎月エアコンの清掃を行っている。	・玩具・本などの消毒に時間を取るために工夫が必要
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	・個室はないが個々に合わせた机やイスを準備している。 ・クールダウンは駐車場を使用したりしている。	・専門的支援を行う時は2階の使用も考えたい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	0	・ミーティングを毎週行い目標や振り返りを行っている。	・目標を持っている職員がいる中でそうでない職員もいるので共有しながらワンチームである事を自覚してもらう様にしている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	・ご意見に添うように改善をしている	・今後も継続する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	6	・毎週ミーティングを行い改善している。	・今後も継続する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1		・出来るようにして頂きたい・
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	・興味のある研修には行つて頂ける様に声をかけている。 ・事業所内研修はパートさんの参加も増えている。	・パートさんにも支援ではなくても来ていただき参加して頂けるように研修の大切さをわかって頂く
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	・毎年見直し修正があればしている。	・職員全員で把握出来るようにしたい
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	・保護者面談を毎年2回行いアセスメントを取ったり日々の様子を聞いている。	・職員全員に把握出来るようにしたい
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・日々の振り返り・子供の様子を伝えながら共有している。	・検討会議の開催が中々出来ないで時間の確保をしたい
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・支援計画は誰でも見られるようにしている。	・中々見て頂けていないので声を掛けていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	・振り返りをしている。	・パートさんへの共有をしっかりとするための工夫をしたい
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・5領域に添って適切に支援をしている。 ・連絡帳に保護者様の相談があればすぐに対応している。 ・公園などに行き地域の方たちと交出来るようにしている。	・公園に行くこと避けられてしまう事が多いのでどうしたら良いか？考えている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・日々の案は1人で立て実践は全員で行っている。	・日案に時間がかかっているので何とか短縮できないか？日々考えている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	・毎日個々に考えているので固定にはならない。	・固定ではないので準備が大変

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	・時間で個別・集団の組み合わせを行っている。	・不穏な利用者様がいるりする時などの工夫が必要
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	4	・毎朝確認をしている。	・日案の立てた方に説明・目標などの指示を出してもらっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	・翌日に行っている	・問題がある時にはその日に話をするにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	・日案をファイルして振り返りを行っている。	・時間の取れない日があるので人数が少なくても振り返りを行うことが必要
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	・定期的なモニタリングが中々できていない。	・振り返りの時間や個々に聞くなどして先ず定期的に見直しの出来る取り組みをしたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12	0	手先を使ったり・外出をしたりして色々な事が挑戦できるような支援をしている	・今後も継続する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	1	・常に子供に聞いている ・どうしようか?と判断を促すことをしている。	・時折その時の状況判断になってしまいがちなので気を付けるようにしている
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	・児童発達管理責任者が出席している。	・今後も継続する。 ・余裕がある時には専門的支援計画を作成している職員の出席も考えている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1	・協力医療機関はある	・継続
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	0	・保護者様や学校様から情報を頂いている	・今後も継続
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	1	・卒園際には関係機関揃って情報の共有をしている	・今後も継続
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	0	・卒業の際には関係機関揃って情報の共有をしている	・今後も継続
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	・児童発達支援センターさんとの連携は出来ている。	・是非研修などを受けたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	0	・出来ていない	・公園などで一緒に遊ぶことは出来る
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	3	・出来ている	・今後も継続
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・送迎時などに伝えている。 ・保護者面談などに理解を深めている。	・今後も継続
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	4	・情報の提供はしている	・今後も継続
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	・契約時にしている。 ・支援プログラムの説明はしていなかった	・支援プログラムの存在をお知らせして節目をしていく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	・保護者面談を毎年2回行いアセスメントを取ったり日々の様子を聞いている。	・今後も継続
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	0	・得ている	・今後も継続
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	・している	・今後も継続

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13	0	・保護者会などで札を作りお名前がわかるようにしている。 ・お友達と会いたいなどの要望には応えられる対応をしている。	・今後も継続
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	・すぐに対応している	・今後も継続
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	・毎月お便りを発行している。 ・2か月に1回以上ブログを上げている。	・今後も継続 ・ブログをもう少し頻度を上げたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・鍵付きキャビネットに保管している。	・今後も継続
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	・電話だけではなく、メールやライン等ツールは使っている	・何か別の物がある時には早急に対応したい
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	・出来ていない	・出来るように取り組みたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1	・本社スケジュールに沿って行っている。	・本社スケジュールのみではなく事業所に於いて必要な訓練・研修を行っていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	・本社スケジュールに沿って行っている。	・本社スケジュールのみではなく事業所に於いて必要な訓練・研修を行っていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	・している。	・今後も継続
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	1	・医師からの指示書はないが保護者様に都度確認している	・今後も継続
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	・している。	・リスクをだしあってその状況を予測しながら支援するようにしている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1	・周知出来ていないと感じている。	・お便りやツールを使って周知したい。 ・保護者面談の時にも伝えていきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	2	・している	・防止策をしっかりとてたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	・している。	・第3者が見た時・聞いた時にどう感じるか？を常に考える
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	・記載している	・個々の特性を理解をして拘束を「しない方法」を考え支援に取り組む	